

授業科目名	社会福祉調査の基礎	単位数	2単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)社会福祉調査の意義・目的を理解する。 (2)社会福祉の発展と社会福祉調査の連関を理解する。 (3)社会福祉調査における倫理原則、個人情報保護について理解する。 (4)量的調査、質的調査、量・質のミックスメソッドについて理解する (5)ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。			
授業の概要			
社会福祉においては、人々のニーズを把握するためのデータ収集、潜在的ニーズの発見へ向けての調査、サービスの効果測定など、実証的、科学的な分析力や問題解決能力が欠かせなくなっている。また、社会福祉学の理論や制度構築の点からも、社会福祉調査は重要な位置を占めるようになってきている。本科目では、社会福祉調査の意義と目的をふまえ、調査の倫理原則、調査の種類と方法を学習する。			
授業計画			
第1回:社会福祉調査の意義と目的 第2回:社会福祉制度と社会福祉調査 第3回:社会福祉の発展と社会福祉調査の連関 第4回:社会福祉調査における倫理原則と個人情報保護 第5回:調査方法の種類と概要 第6回:量的調査の方法① 種類・方法 第7回:量的調査の方法② アンケート調査の方法 第8回:量的調査の方法③ 量的データの集計と分析 第9回:質的調査の方法① 種類・方法 第10回:質的調査の方法② インタビュー調査の方法 第11回:質的調査の方法③ 質的データの整理と分析 第12回:ソーシャルワークにおける評価① 実践の評価の意義と目的 第13回:ソーシャルワークにおける評価② 実践の評価の方法 第14回:ソーシャルワークにおける評価③ プログラムの評価 第15回:まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
(1)調査の目的に合致した調査方法の選択 (2)調査計画の作成(含、倫理的配慮) (3)サンプルデータを用いた分析の実践① 量的データ (4)サンプルデータを用いた分析の実践② 質的データ			
テキスト			
一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編(2021)『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、978-4-8058-8235-1			
参考書・参考資料等			
三井さよ・三谷はるよ他編(2023)『はじめての社会調査』世界思想社、978-4790717775 笠原千絵・永田祐他編(2013)『地域の〈実践〉を変える社会福祉調査入門』春秋社、978-4393333297			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			